

# 決算発表説明資料

(平成29年3月期)

- 連結決算（経営成績）
  - 工作機械関連事業部門
    - 受注動向
  - 輸送機器関連事業部門
  - 財政状態



# 連結決算（経営成績）



公表＝前回業績予想(2/9)

## 【前年同期比較】（累計）

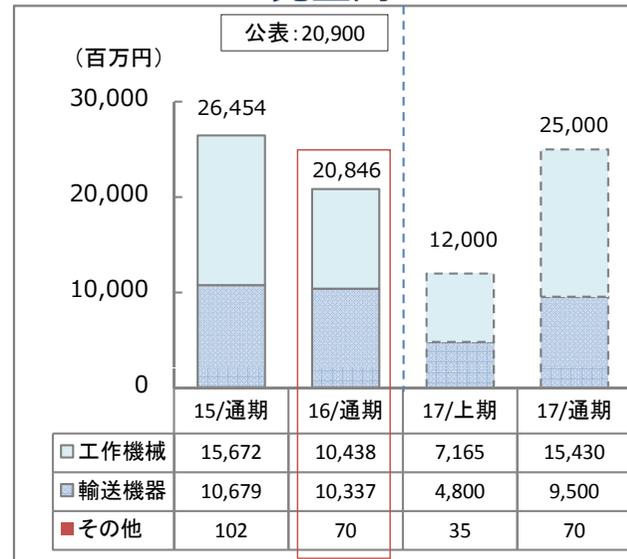
### ●2016年度 通期業績概要

概ね前回(2/9)公表値通り推移し、売上高20,846百万円（前期比21.2%減）、営業利益▲404百万円（前期は556百万円の利益）となりました。工作機械関連事業部門の減収により苦戦しましたが、4Q(1-3月)は売上改善、営業利益黒字化の目標を達成しました。

### ●2017年度 通期業績見通し

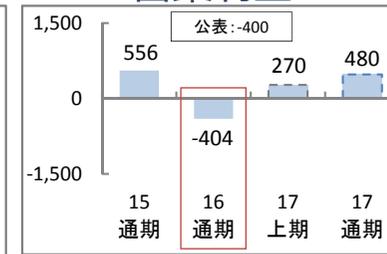
輸送機器関連事業部門はベトナム現地法人は増収となりますが、国内は減収となる見通しのため、売上高9,500百万円（前期比8.1%減）となる見通しですが、一方、工作機械関連事業部門は、システム機を中心に大幅に増収、現地法人の業況も回復する見通しのため、売上高15,430百万円（前期比47.8%増）と大幅に改善し、全社では、売上高25,000百万円（前期比19.9%増）、営業利益480百万円（前期は404百万円の赤字）とV字回復を予想しております。

### 売上高

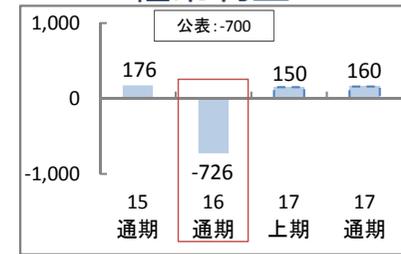


※17/上期、17/通期は予測

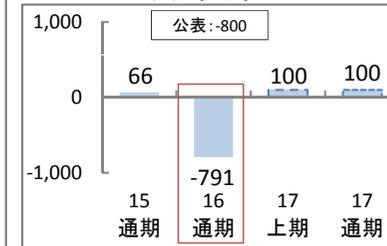
### 営業利益



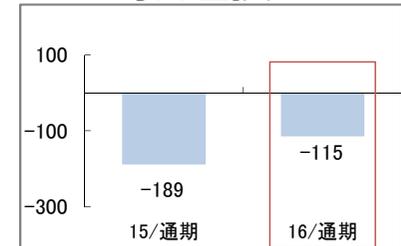
### 経常利益



### 当期純利益

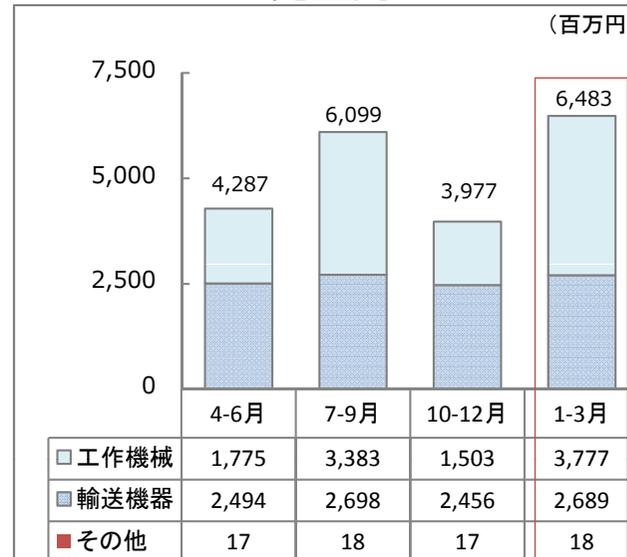


### 為替差損益

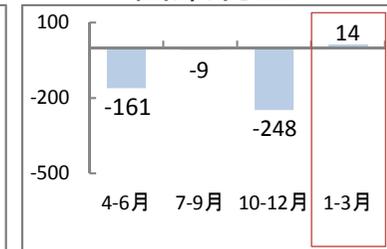


## 【四半期比較】

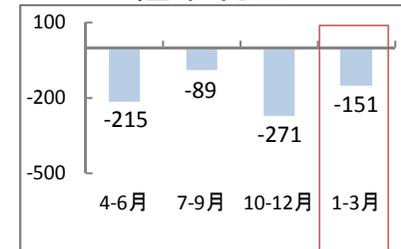
### 売上高



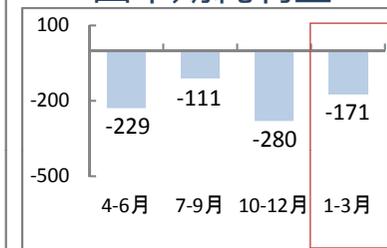
### 営業利益



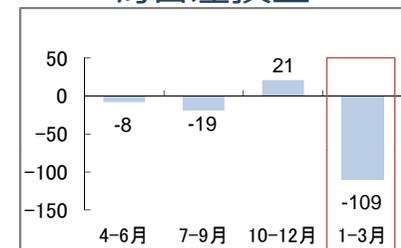
### 経常利益



### 四半期純利益



### 為替差損益



# 工作機械関連事業部門（経営成績）

## 【前年同期比較】（累計）

### ● 2016年度 通期業績概要

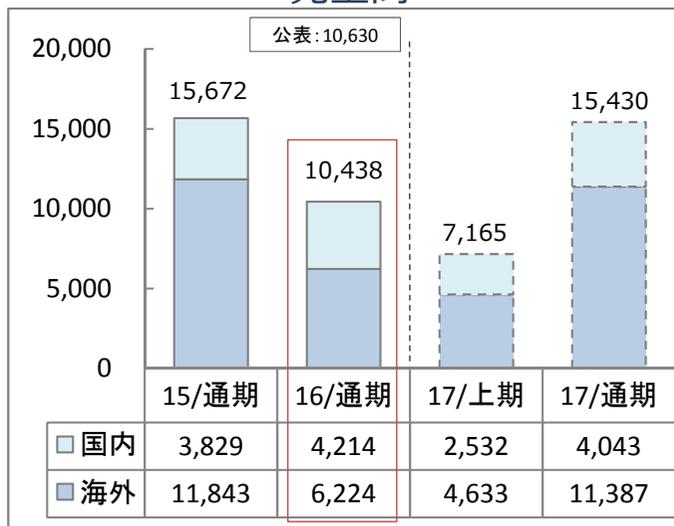
概ね前回(2/9)公表値通り推移し、売上高10,438百万円（前期比33.4%減）、営業利益▲850百万円（前期は345百万円の利益）となりました。今期は中国向け大口システム案件がないことから苦戦しましたが、4Q(1-3月)は売上、利益ともに改善しております。

### ● 2017年度 通期業績見通し

売上高につきましては、国内、北米、中国を中心にシステム案件の売上増を見込んでおり、売上高15,430百万円（前期比47.8%増）と大幅な増収を予想しております。

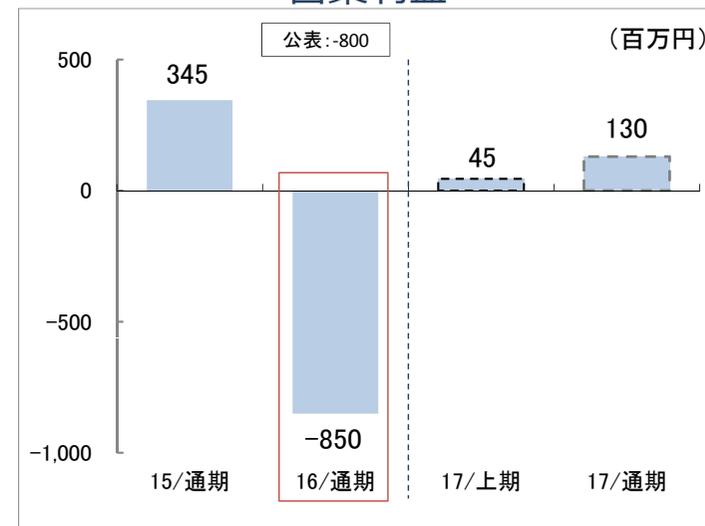
営業利益につきましては、全社一丸となって取り組んでいる「損益改善施策」の効果もあり、営業利益130百万円（前期は850百万円の赤字）と黒字回復を予想しております。

### 売上高



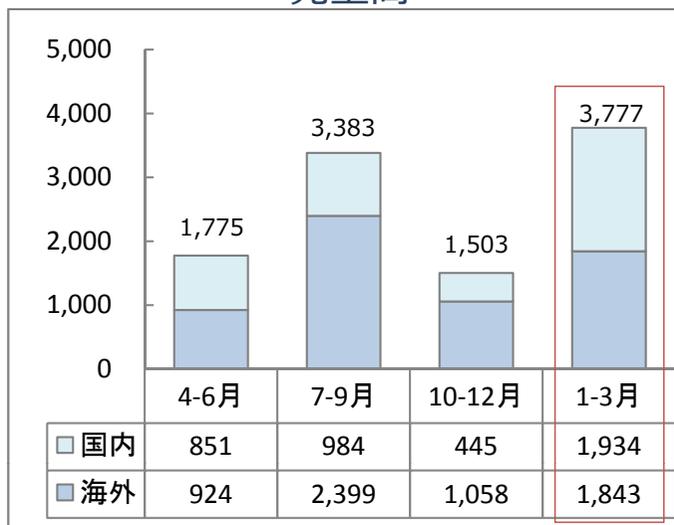
※17/上期、17/通期は予測

### 営業利益

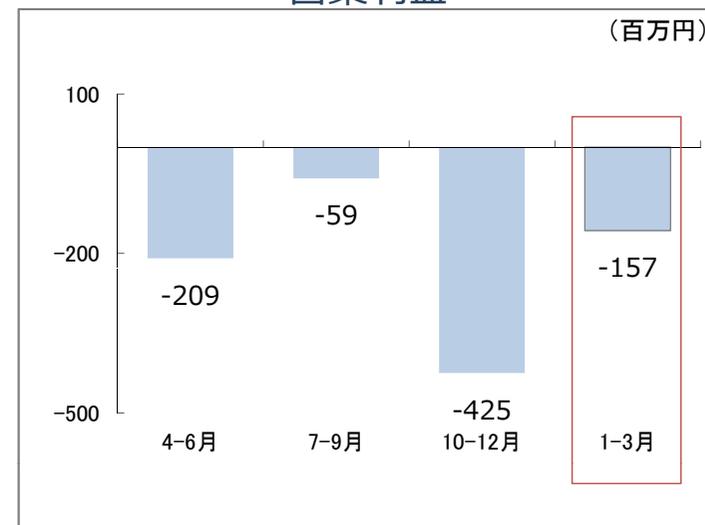


## 【四半期比較】

### 売上高



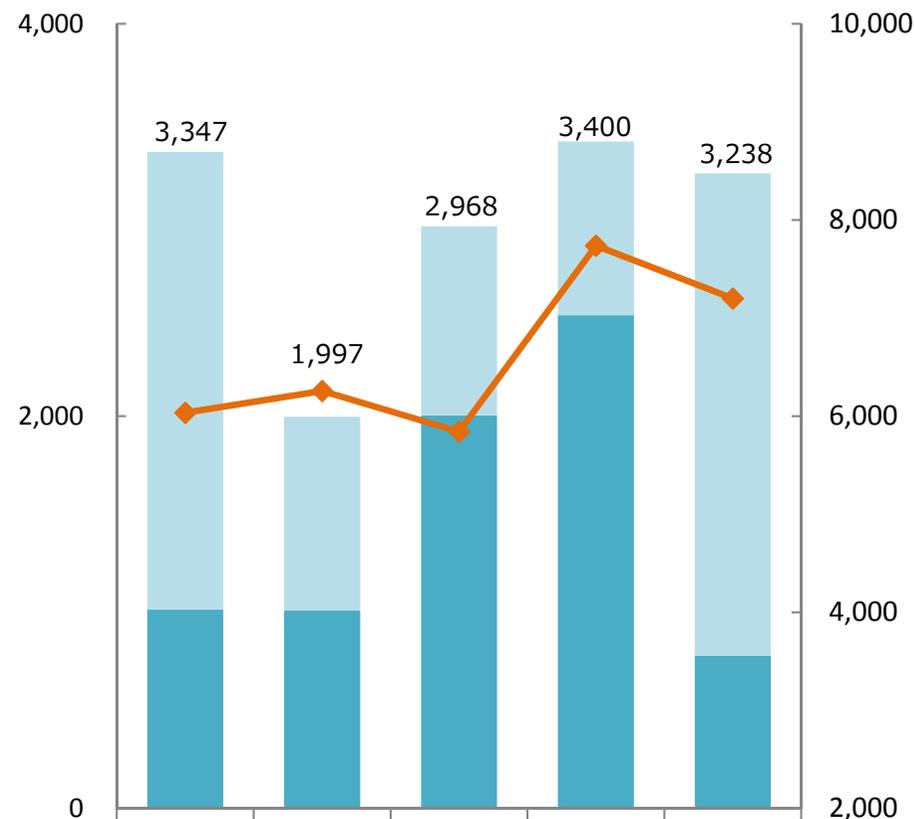
### 営業利益



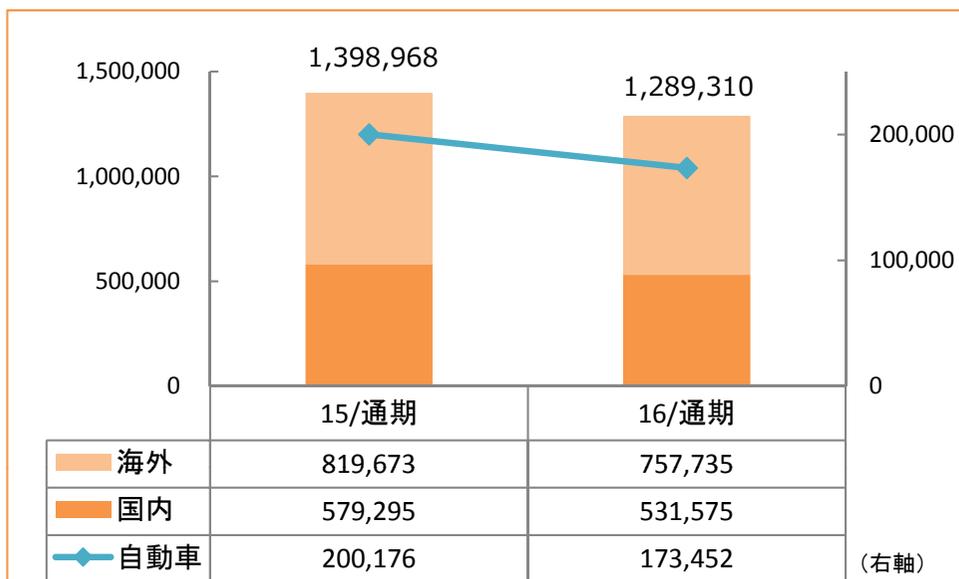
## 【四半期推移】

拡販成果により、中国、北米、国内を中心に受注が取れており、4Q(1-3月)受注高も高い水準を維持しております。今期は欧州へも拡販し、より多くの受注確保に努めてまいります。また、引合額は依然として高い水準を維持しており、受注率を高めるべく、引き続き営業技術部を中心に「提案力強化」を図ってまいります。

## ☆当社の受注高及び受注残高推移



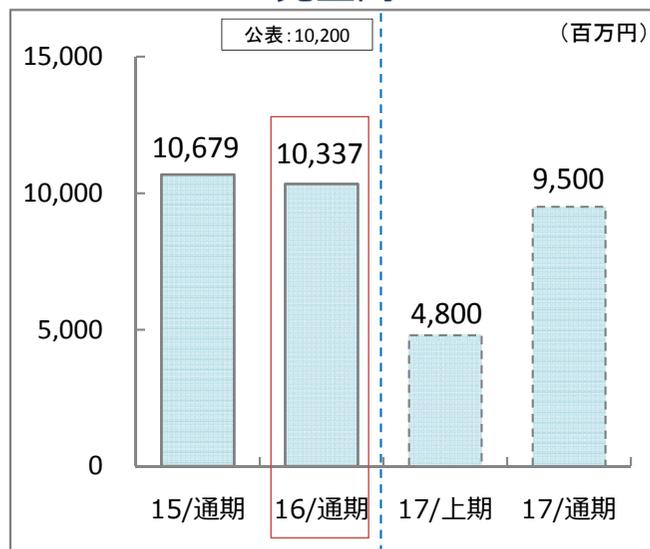
## ☆日本工作機械工業会受注推移



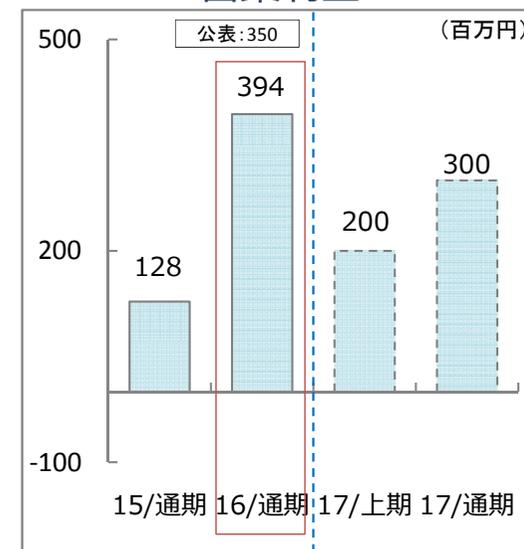
# 輸送機器関連事業部門 (経営成績)

## 【前年同期比較】 (累計)

### 売上高



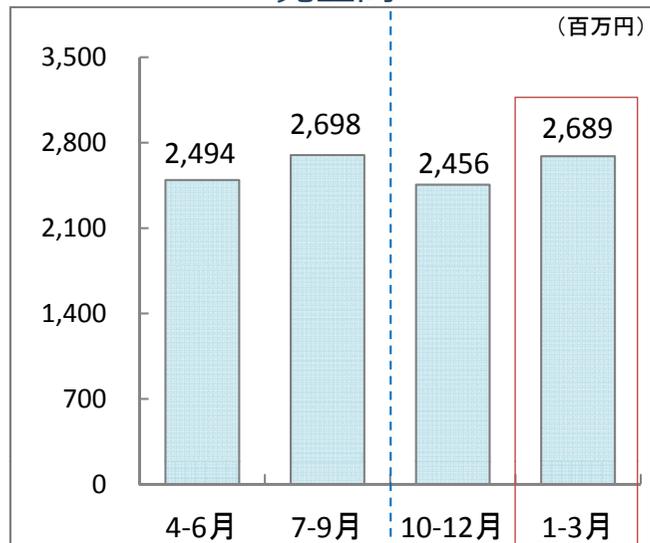
### 営業利益



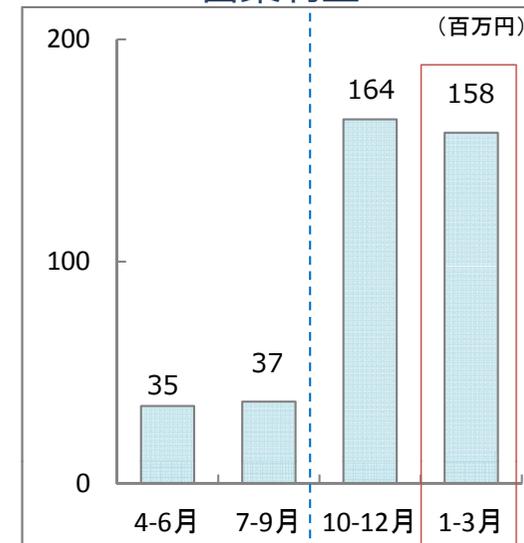
※17/上期、17/通期は予測

## 【四半期比較】

### 売上高



### 営業利益



### ●2016年度 通期業績概要

概ね前回(2/9)公表値通り推移し、売上高10,337百万円（前期比3.2%減）、営業利益394百万円（前期比207.2%増）となりました。ベトナム現地法人は順調に推移し増収増益、国内は減収となりましたが、労務費圧縮に加え、刃具、油等の変動費コスト管理が徹底されたことにより増益となりました。

### ●2017年度 通期業績見通し

売上高につきましては、ベトナム現地法人の生産は拡大していくものの、トラック等の生産減により国内は減収となり、売上高9,500百万円（前期比8.1%減）を予想しております。

営業利益につきましては、ベトナム現地法人は安定した収益を見込めるものの、国内減収分をカバーしきれず、営業利益300百万円（前期比24.0%減）を予想しております。

# 財政状態

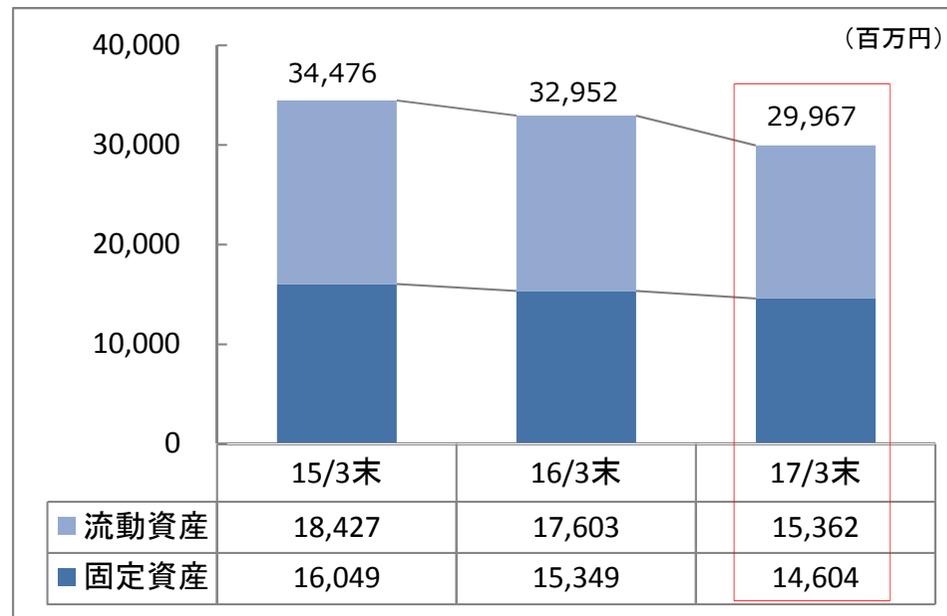
## 総資産

### ●財政状態

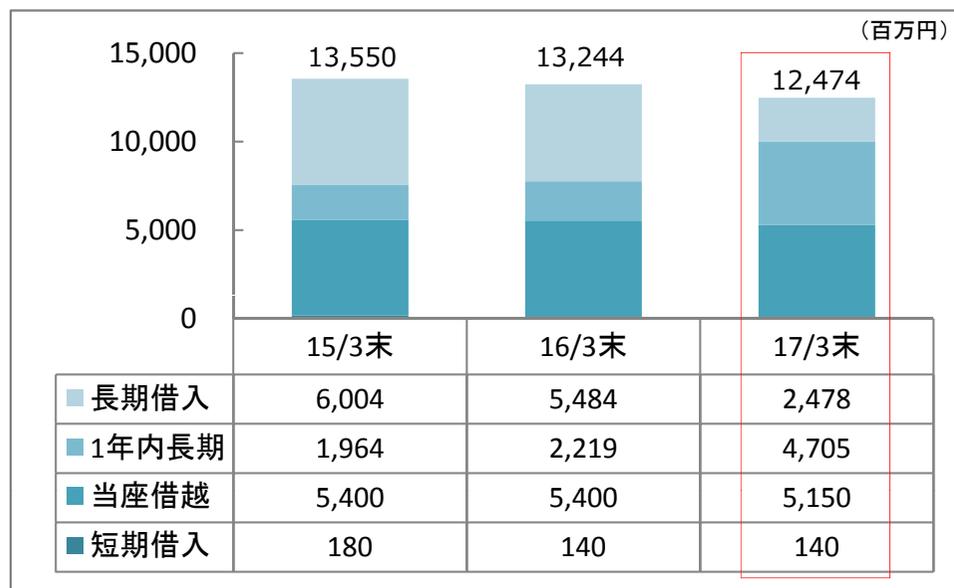
運転資金の圧縮により、バランスシート改善を継続しており、借入金、総資産は減少しております。

(総資産16/3末比 ▲2,985百万円)

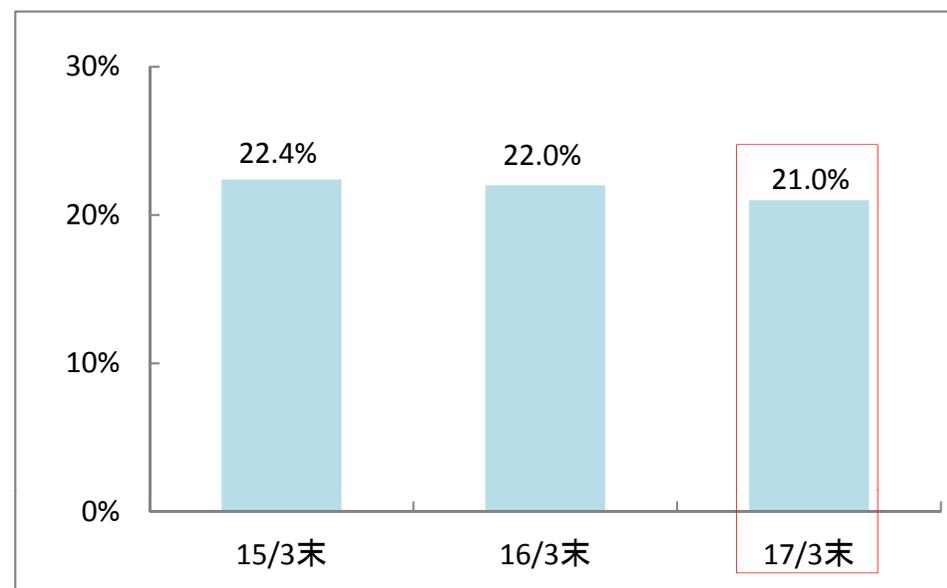
総資産は圧縮しましたが、利益剰余金の損失が増加したことにより、自己資本比率は1.0ポイント減少しております。



## 借入金



## 自己資本比率



## 注記事項

本説明資料に記載いたしました業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。